



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 三菱化工機株式会社

コード番号 6331 URL <https://www.kakoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中 利一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 根木 貴晴 (TEL) 044-333-5354

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	41,313	20.7	3,629	9.8	3,869	8.9	2,512	△41.3
2024年3月期第3四半期	34,220	9.1	3,305	57.1	3,553	47.0	4,277	173.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,988百万円(△16.3%) 2024年3月期第3四半期 3,568百万円(13.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	330.29	—
2024年3月期第3四半期	561.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	65,921	36,484	55.3	4,794.42
2024年3月期	63,170	34,577	54.7	4,540.06

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 36,484百万円 2024年3月期 34,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	30.00	—	80.00	110.00
2025年3月期	—	50.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	21.4	4,800	8.8	4,550	△3.4	3,200	△40.7	420.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	7,913,950株	2024年3月期	7,913,950株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	304,133株	2024年3月期	297,783株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	7,607,486株	2024年3月期3Q	7,616,357株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、個人消費は一部に足踏みが残るものの持ち直しの動きがみられ、企業収益の改善を背景に民間設備投資は堅調であり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、ウクライナや中東での紛争長期化等地政学リスクの高まり、円安傾向が続く中での物価上昇、エネルギー価格や原材料価格の高騰、また、米国の今後の政策動向等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、41,313百万円と前年同四半期に比べ20.7%の増加となりました。損益面におきましては、人件費等の増加による販売費及び一般管理費の増加がありましたが、売上高の増加による売上総利益の増加等により、営業利益は前年同四半期に比べ9.8%増加の3,629百万円となり、経常利益は、前年同四半期に比べ8.9%増加の3,869百万円となりました。また、前第3四半期連結累計期間は特別利益を2,809百万円計上いたしましたが、当第3四半期連結累計期間は、特別損失に減損損失64百万円、固定資産撤去費用90百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べ41.3%減少の2,512百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

エンジニアリング事業については、売上高28,031百万円(前年同四半期比20.2%増加)、営業利益775百万円(前年同四半期比43.2%減少)となりました。

単体機械事業については、売上高13,282百万円(前年同四半期比22.0%増加)、営業利益2,853百万円(前年同四半期比47.2%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,751百万円増加の65,921百万円となりました。これは、現金及び預金の減少5,705百万円、有形固定資産の減少968百万円、主として繰延税金資産の減少による投資その他の資産のその他の減少320百万円等がありましたが、受取手形、売掛金及び契約資産の増加3,738百万円、電子記録債権の増加1,786百万円、仕掛品の増加612百万円、主として前渡金の増加によるその他流動資産の増加1,361百万円、のれんの増加1,308百万円、株価上昇に伴う評価差額の増加による投資有価証券の増加847百万円等の影響によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ844百万円増加の29,436百万円となりました。これは、電子記録債務の減少1,316百万円、未払法人税等の減少1,584百万円、賞与引当金の減少589百万円等がありましたが、契約負債の増加4,536百万円等の影響によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,906百万円増加の36,484百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1,460百万円、その他有価証券評価差額金の増加554百万円等の影響によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,183	9,478
受取手形、売掛金及び契約資産	24,210	27,948
電子記録債権	3,149	4,936
製品	599	726
仕掛品	2,346	2,958
材料貯蔵品	994	980
その他	1,784	3,146
貸倒引当金	△7	△0
流動資産合計	48,260	50,173
固定資産		
有形固定資産	6,389	5,420
無形固定資産		
のれん	-	1,308
その他	455	427
無形固定資産合計	455	1,736
投資その他の資産		
投資有価証券	4,905	5,753
その他	3,179	2,859
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	8,063	8,590
固定資産合計	14,909	15,747
資産合計	63,170	65,921
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,113	5,771
電子記録債務	3,727	2,411
1年内返済予定の長期借入金	-	1,300
未払法人税等	1,719	135
契約負債	5,531	10,068
賞与引当金	1,065	475
役員賞与引当金	24	11
完成工事補償引当金	728	636
受注工事損失引当金	103	153
その他	1,887	1,969
流動負債合計	20,902	22,932
固定負債		
長期借入金	3,300	2,000
役員報酬B I P信託引当金	95	127
従業員株式給付引当金	-	40
退職給付に係る負債	3,931	3,928
その他	362	407
固定負債合計	7,689	6,504
負債合計	28,592	29,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,956	3,956
資本剰余金	4,203	4,212
利益剰余金	24,117	25,578
自己株式	△541	△580
株主資本合計	31,736	33,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,188	2,742
繰延ヘッジ損益	△14	△18
為替換算調整勘定	△218	△302
退職給付に係る調整累計額	886	894
その他の包括利益累計額合計	2,841	3,316
純資産合計	34,577	36,484
負債純資産合計	63,170	65,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	34,220	41,313
売上原価	25,800	32,410
売上総利益	8,419	8,903
販売費及び一般管理費	5,114	5,274
営業利益	3,305	3,629
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	226	159
為替差益	145	254
その他	5	25
営業外収益合計	379	440
営業外費用		
支払利息	22	22
訴訟関連費用	50	93
その他	57	84
営業外費用合計	130	200
経常利益	3,553	3,869
特別利益		
投資有価証券売却益	2,384	-
固定資産売却益	425	-
特別利益合計	2,809	-
特別損失		
減損損失	-	64
固定資産撤去費用	176	90
特別損失合計	176	154
税金等調整前四半期純利益	6,186	3,714
法人税、住民税及び事業税	1,555	756
法人税等調整額	354	445
法人税等合計	1,909	1,201
四半期純利益	4,277	2,512
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,277	2,512

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	4,277	2,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△762	554
繰延ヘッジ損益	△26	△3
為替換算調整勘定	35	△83
退職給付に係る調整額	44	8
その他の包括利益合計	△708	475
四半期包括利益	3,568	2,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,568	2,988

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	23,330	10,889	34,220
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	23,330	10,889	34,220
セグメント利益 (営業利益)	1,366	1,938	3,305

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	28,031	13,282	41,313
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	28,031	13,282	41,313
セグメント利益 (営業利益)	775	2,853	3,629

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	485百万円	525百万円
のれんの償却額	—	45